

## 一致団結、社会実験！

'ONE FOR ALL, ALL FOR ONE'

## — 足助はうち、佐原はそと —

-Asuke and Sawara PJs show the results of their research.-

text\_muramoto

11月13日(土)・14日(日)に「あすけうちめぐり」が、翌週末の11月20日(土)・21日(日)に「下新町空間事典」が開催され、足助・佐原両PJともこれまでの成果を実際のまちで実践しました。

2 social experiments, 'Asuke Utimeguri' (show the inside of houses in Asuke) held on 13th and 14th, Nov. and 'Shimoinmachi Kukan Jiten' (panel exhibition on street in Sawara) held on 20th and 21th, Nov, finished successfully.



## 下新町 空間事典

text\_maekawa

text\_yasukawa



▲住宅のうちのわを楽しむ人々

町のうちのわに秘められた魅力を観光客に知ってもらおうという目的で25軒のお宅にご協力いただき、普段は非公開の生活空間である土間や中庭を公開して頂く試みを行いました。

2日間とも天候に恵まれ、通りはお各宅の方が熱心に家のエピソードを語る姿や、興味深そうに聞き入る観光客で溢れていました。それだけでなく、同じ町に暮らしながら一度も入ったことがなかったお宅を一目見たいと楽しげに出かけて行く足助の人々の姿も印象的でした。

この社会実験の成功体験を良い方向へと活かし、今後も町の方々と一緒になって、足助の将来像とは、という問いについて考えていきたいと思えます。



▲ボランティアには中学生が参加！



▲通りで空間解説カードに見入る人々

香取市とNPOが主催する「建物公開」というイベントに合わせ、4月からサイン実験や盆ふえすたを行ってきた新町通りで「下新町空間事典」とサインによる回遊性実験を行いました。

盆ふえすたでは内側の魅力だったのに対し、今回の「空間事典」では、外側の、通りの魅力を伝えることを目標とし、「通り・スケール・意匠・機能」という4つの切り口で新町通りの空間的な魅力を解説したカードを各所に配置しました。

「空間事典」は、通り抜けるだけでは気付かない通りの魅力を知ることが出来て良かったという声の反面、他のイベントとの競合してしまったという反省もあり、また後日実験しようと計画中です。



▲MT1を中心に多くの助っ人が！

## 寺田基金の設立、寺田弘氏よりの寄付をもとに

Terada fund is established! -Mr. Terada donate a fund to our lab.-



▲寺田氏より寄付を受け取る西村教授

11月16日、研究室にかつて研究生として所属していたまちづくり活動家で、現在も神楽坂で「NPO 粋なまちづくり倶楽部」理事長として活躍中の寺田弘氏より、研究室の院生諸君の研究活動に役立ててほしいという趣旨で、250万円の寄付を頂きました。

寺田さんは、現在も神楽坂のプロジェクトチームがお世話になっている地域のリーダーですが、かねてより都市デザイ

教授 西村 幸夫  
ン研究室のメンバーが神楽坂で大きな力になってくれていることに何かのお礼をしたいと言われており、私財の提供を決定されました。

今後の用途は研究室で相談していきたいと思いますが、当面は学会発表等の旅費の補助に使うことになると思います。寺田基金として院生のために有効に使わせて頂きたいと思えます。寺田弘さん、本当にありがとうございます！

## 留学生コーナー第 10 弾！

An Essay by International Student vol.10

多国籍な都市デザイン研の特徴を活かし、長年住んでいると気づかない日本の都市の姿を留学生の新鮮な目で伝えます。記念すべき第 10 弾はバーレーン出身の D1 アヘラムさんです。

## “Harbors of the future”

-filling the city's outskirts with the ever increasing recent phenomenon of land reclamation.-

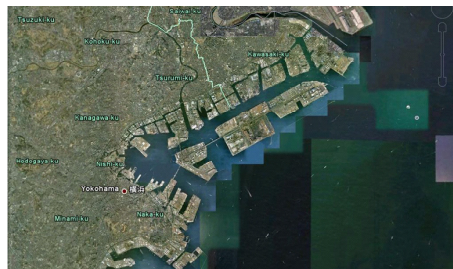
One of my favorite cities in Japan is its second largest city; the city of Yokohama. What intrigues me about the city of Yokohama, is its consistent effort in utilizing its environmental resources, its unique and sensitive approach towards its historic buildings and the balance that the city has created between the public open spaces, plazas, spacious promenades, etc... and its private realm. Furthermore, the city has expanded its size dramatically through massive landfill on its coast side; such efforts have shaped the city of Manama as well.

Manama is the capital of the kingdom of Bahrain and is located in the north of its largest island; it has been sprawling out into the sea for years and is still doing so. While Yokohama functioned as a “super hub port” and a gateway to Japan as a result of extensive reclamation works in the 1960's and 70's; Manama “bab al-Bahrain” which means the gateway to Bahrain had the same role since the 1940s, though the extensive reclamation has shifted the gateway to a new location. The city's morphology has been changing lately by the endless artificial islands taking place on its northern waterfront where a number of iconic buildings were deployed so that the city acts as a strategic international financial hub for the Gulf region. However, Manama city still struggles to find a balance between its nature and its urban context, its historic fabric and its contemporary/modern buildings. The lack of

pedestrian spaces, open public spaces, parks and a reliable public transportation system are all challenges that the city is currently facing.

On the other hand, Yokohama city, with its eco-friendly environment adapted by Yokohama's government and local citizens, its fresh air quality, fully accessible waterfront, many landmark buildings and parks have accomplished astonishing achievements. Therefore there is no wonder why the city of Yokohama was selected as one of Japan's Eco-Model cities in 2008, and received “Good

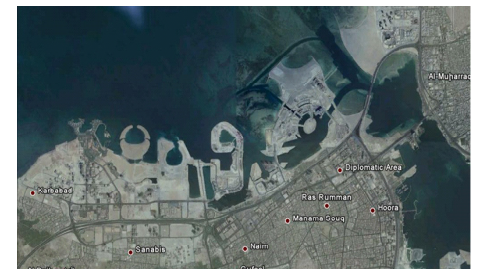
## YOKOHAMA



Design Award” in 1998 and that is why I consider it to be one of my favorite cities in the Tokyo Metropolitan Area.

For such reasons, I find similarities between those two cities which both evolved from a fishing village to a bustling global hub, despite the fact that Manama started its modern urbanization relatively late and has not yet accomplished what Yokohama did. I hope that Manama city will learn from the case of Yokohama and achieve what it has done in the near future.

## MANAMA



## 第 45 回 日本都市計画学会学術研究論文発表会

The 45th Convention of The City Planning Institute of Japan @Nagoya

11月13日から14日にかけて名古屋大学において開催された第45回日本都市計画学会学術研究論文発表会に参加して来ました。都市デザイン研究室からは3名(OB含む)が論文を発表し、『「都市計画遺産」の可能性を探る』や『非東京の地域デザインを九州から考える コンパクト・シティ論を超えて』といったワークショップにも参加しました。

後者のテーマでは人口減少の時代にお

いて地域デザインをどうすべきか、鹿児島や熊本、長崎の事例から縮小という目標ではなく、まず地域デザインの根本となる資源を探求する“特定地域学研究”が必要だという言葉が印象に残りました。まさに我々が日頃からプロジェクト活動において実践してきたことに相通じるものがあると思いました。

来年度は東大で開催され、学会60周年記念コンペも開催されるとのことです！

text\_abe

## 発表者一覧

欧州評議会による「文化の道」政策に関する研究  
西川 亮 ((財)日本交通公社)・西村 幸夫・窪田 亜矢

イルデフォンソ・セルダの著書「都市計画の一般理論」  
に至る計画概念についての試論

阿部 大輔 (東京大学大学院)

20世紀初頭の古きバリ委員会による歴史的記念物保  
全への都市的視点の導入に関する研究

江口 久美 (東京大学大学院)

## Information

## 11月・12月の予定

11月27～28日	都市住宅・不動産・資産評価政策学会合同大会@東大
12月4日	浅草PJ「光月工房」第三弾
12月4～5日	高山PJ現地調査
12月8日	2010年度第11回研究室会議@144講義室
12月11～12日	田村PJ現地調査
12月14日	鞆PJ現地調査
12月15日	2010年度第12回研究室会議@8階会議室 忘年会@鳳明館

## ✦ 編集後記

村本 健造

さて、あれよあれよという間に師走が目前となりました。1年が本当にあっという間に過ぎて行ってただただ唖然とするばかりです。僕は今週末で23歳になりますが、研究室内ではまだまだ若輩者(の割りに態度だけはでかい)で、先生方や先輩方の支えに日々甘やかされております。ところが学部2年生のTAをしていると、彼らにとっては3つも年上の存在なので、ばんばんと相談を受けたり、結構するどい質問が飛んできたりして、先輩としてしっかりしなければいけない、と痛感しております。また、演習室にクリスマスツリーを飾ったり、電飾まで持ってきて飾り付けしている彼らの若さには脱帽。自分も都市工学科に進学した当初はあんなにはしゃいでいたのかと思うと、恥ずかしさを覚えると同時にノスタルジーに浸ったりして..